

熊本地震・九州北部豪雨

被災地域には、いまだに仮住まい生活を余儀なくされている方がたくさんいます。まだまだ支援が必要です。カンパのご協力をお願いします。

グリーンコープのホームページで支援活動の様子を報告しています。

熊本地震

グリーンコープ生協くまもと

2016年4月の地震発生から2年半以上が経った今も仮設住宅などで生活されている方も多く、被災者・被災地に寄り添った継続的な支援が必要とされています。組合員が中心となって、地震により失われた地域コミュニティの再構築や、買い物支援の移動販売、孤立しがちな方たちの見守りなど、被災した方に寄り添い自立を支えていくような息の長い支援を続けています。

熊本地震仮住まい世帯数(2018年10月31日現在)
建設型(プレハブ)仮設住宅…2,527世帯(当初4,303世帯)
借上げ型(みなし)仮設住宅…7,623世帯(当初16,116世帯)

つながるカフェ

支援が届きにくい在宅被災者及びみなし仮設の方々の出合いの場づくりと孤立防止を目的に、益城町の飯野公民館で毎月「つながるカフェ」を開催しています。

9月20日には、グリーンコープの削り節メーカー「山一」さんを講師に手打ちうどん作りをしました。小麦粉をこねたり、足で踏んだりして皆さん楽しそうでした。できあがり「スープのだしがきいてとてもおいしい」と大好評でした。



グリーンコープ生協くまもと
理事長
高濱 千夏さん

熊本地震から2年半が経ちました。仮設住宅も空き部屋が目立ち始めましたが、いまま2万人以上の方が仮住まいの避難生活を続けています。

居場所作りの取り組みやサロン活動に加え、高齢者の食費を切り詰めた生活を心配した地域からの声で東無田食堂を始めました。「みんなで食べる」と美味しい「元気がでる」と楽しみにされています。皆さんからのカンパで熊本に笑顔の輪が広がっています。

東無田食堂

「自宅再建や災害公営住宅に入居するために食費を抑えている方や、1人暮らしのため調理しない方が増えて、栄養状態が良くない方が多いようだ」との声を聞いて、小池島田仮設団地の集会所で「東無田食堂」を開催しています。

地域の方や仮設住宅にお住まいの方も運営に参加され、将来的には、地域の皆さんで担っていただく予定です。



南阿蘇村長野岩戸神楽

300年以上の歴史を持つ長野岩戸神楽は、中止を余儀なくされましたが、地域の方たちの熱意により2016年10月に再開。バラバラになった住民の方が年に1度集まれる場になっています。

地震後長野地区に水の支援を行っていたグリーンコープに出店要請があり、以来毎年出店しています。



九州北部豪雨

グリーンコープ生協ふくおか

2017年7月の発災から1年半が経過しようとしていますが、安心して生活できる地域にするにはインフラ整備などに相当な時間がかかると考えられます。被災された方が自宅に戻る見通しも立っていない状況のため、継続的な支援が必要です。行政や自治会、地域の有志の方たちと連携しながら、食事会やイベントの開催、見守り訪問などの支援活動をすすめています。

九州北部豪雨災害仮住まい世帯数(2018年10月31日現在)
建設型(プレハブ)仮設住宅……107世帯
借上げ型(みなし)仮設住宅……363世帯

頼田団地笑顔食堂

仮設住宅頼田団地と近隣のみなし仮設入居者を対象に、1食200円で毎週「頼田団地笑顔食堂」が開かれています。

グリーンコープは地元ボランティアの皆さんと一緒に食堂を運営し、食材やグリーンコープ甘木店2階調理室の提供、料理の運搬や、4週に1度の食堂の当番を担っています。



見守り訪問

被災した方たちの孤立を防ぐ目的で、1人暮らしの高齢の方を対象に、組合員が見守り訪問を行っています。訪問の際には、お正月支援セットやひな祭りセットなど、季節を意識した支援品をお届けし、被災された方たちと交流しています。



グリーンコープ生協ふくおか
理事長
三原 幸子さん

仮設住宅やみなし仮設の皆さんと行事を行ったり、季節毎に訪問したりしていますが、それを楽しみにしていただいている様子で伺った私たちも嬉しくなります。

地元ボランティアの皆さんとの出会いもありました。組合員のカンパで支援していることをお伝えすると感動されます。

登録ボランティアを募集したところ100名もの応募がありました。これからも皆様の支援よろしくお祈りします。

杷木地域でのランチ交流会

横のつながりが難しい、みなし仮設入居者と自主転居の被災者対象のランチ交流会(主催:杷木地区民生委員・児童委員会、協賛:杷木地域コミュニティ連合会、協力:グリーンコープ)を6月と11月に開催しました。参加した皆さんから、「このような機会を設けていただき本当に嬉しい」と感謝の言葉をいただきました。



災害ごみの搬出

仮設住宅にお住まいの方からの依頼で、ご自宅から災害ごみを運び出しました。災害ごみ置き場には、まだまだ流木などがたくさん残っているという現状がありました。



「自分でできることで支援したい」という組合員の声を受けて、「登録ボランティア」の制度をつくりました。たくさんの組合員が土砂出しやイベントのお手伝い、見守り訪問などの支援に携わっています。

熊本地震支援募金

いつでも、何口でも申し込めます

これまでの募金状況

組合員及びお取引先・その他から寄せられた募金総額	218,086,124 円
支援に活用	208,241,478 円
残高	9,844,646 円
(2018年10月20日現在)	

申込番号 **002** -□ **200円** / 申込番号 **003** -□ **500円**

■ 共同購入申込書の申込番号の数字欄に口数をご記入ください。

※【例】申込番号 **002** の数量欄に「2」と記入された場合は、400円のカンパとして受け付けさせていただきます。

九州北部豪雨災害支援募金

いつでも、何口でも申し込めます

これまでの募金状況

組合員及びお取引先・その他から寄せられた募金総額	71,299,087 円
支援に活用	36,624,736 円
残高	34,674,351 円
(2018年10月20日現在)	

申込番号 **004** -□ **200円** / 申込番号 **005** -□ **500円**

■ 共同購入申込書の申込番号の数字欄に口数をご記入ください。

※【例】申込番号 **004** の数量欄に「2」と記入された場合は、400円のカンパとして受け付けさせていただきます。